平成３０年度 第２回 血友病診療センター運営委員会

日 時： 平成３１年１月７日（月）１７時３０分～１８時３０分
場 所： 診療棟３階西 カンファレンスルーム２, ３
出 席 者： 小林委員長，藤井副委員長，木村，川口，山﨑，池田，武澤，藤田，河江
代理（岩城），梶原，岡田 各委員
欠 席 者： 中島，松原，柴 各委員

報告事項
1. 血友病診療センターにおける現在の患者数について
 小林委員長より本院通院歴のある血友病および血栓止血異常症患者の概況について報
告があった。またその一覧を電子カルテシステムのファイルサーバーにアップし、本会
委員のみがその情報にアクセスできるようにグループ設定を行う方針となった。

議 事
1. 血友病診療センターホームページについて
 山崎委員より資料１に基づき、血友病診療センターホームページ案の提示があった。
小林委員長より広島大学病院のホームページ（以下、広大 HP）内で一画面内に収まる
（スクロールすれば全体を閲覧できる）形式がよいとの提案があった。また、藤井副委
員長より、スタッフ紹介で医師および歯科医師以外の委員の顔写真をどうするかを各委
員に可否を問う必要があるとの提案があった。これらのことを踏まえ、山崎委員が広大
HP 管理者に問い合わせ、ホームページ作成することとなった。また、医師および歯科
医師以外の委員の顔写真掲載の可否に関しては、各委員が山崎委員へ連絡する方針とな
った。

2. 血友病患者等の急変時対応の問題点について
 山崎委員より、資料２を用いて後述のように問題が提起された。
・救急隊からの搬送受入要請の窓口の対応者（二次受入の場合は ICU 看護師）が血友
病に対する理解が乏しい場合、緊急性の高い血友病以外の疾患（骨折や頭蓋内出血、心
筋梗塞など）に着目し、当該科医師のみと受入可否の相談をしてしまい、血友病患者の
受入を断る可能性がある。
・他院主治医からの転院相談の場合、主疾患が血友病以外の場合血液内科にその情報が
回らないまま、本院への転院は不可と返事をしてしまう可能性もある。
これまでにも、このような事例が発生しているため、少なくとも救急隊からの搬送受入
要請の窓口となる医療者に血友病患者であれば全例受入が必要であることへの理解を求
めることが対策として挙げられると提案があった。
川口委員より、患者プロファイルに絶対に断らないように記載することの提案があり全
員一致にて支持された。藤井副委員長より、急変時対応としては、まずは血友病患者の
搬送受入要請を断らないように血友病関連のフローチャートを作成し、医科領域業務連
絡協議会などでアナウンスを行う、あるいは病院長命にて各診療科に周知徹底するよう
呼び掛けていただくなどの対策案を提示された。以上のことを踏まえ、山崎委員がフロ
ーチャットのたたき台を作成することになった。

3. 実績報告書作成について
 藤井副委員長より，血友病診療センターの実績報告として、難病対策センターの実績
報告書様の冊子作成の要否の提案があったが、小林委員長より、全国に活動実績を発信
していくことは必要であるため、血友病診療センターホームページ内に掲載してはどう
かとの提案があり、その方針で全員一致した。

4. 血友病診療センター運営委員会における事務員について 山﨑委員より、今後の事務仕事についての問題提起があった。藤井副委員長より、病
院総務の三分一様より、事務員を設けることの許可は得ているため、山崎委員が地域連
携室の佐藤様に早急に連絡を取り、事務員の役割（委員会開催日時の調整や会議資料の
作成）を伝え、お願いにあがるようにと発言があった。小林委員長より、自らが佐藤様
へ本委員会の事務仕事を引き受けていただけるよう依頼をする方針となった。また、木
村委員より、ドクターズクラークへ依頼も可能ではないかとの提案もあり、同委員に確認していただく方針となった。
その他
1. 次回の委員会は，平成３１年３月に開催する予定とした。詳細に関しては，各委員
と調整を行い、追って報告することとした。 以 上